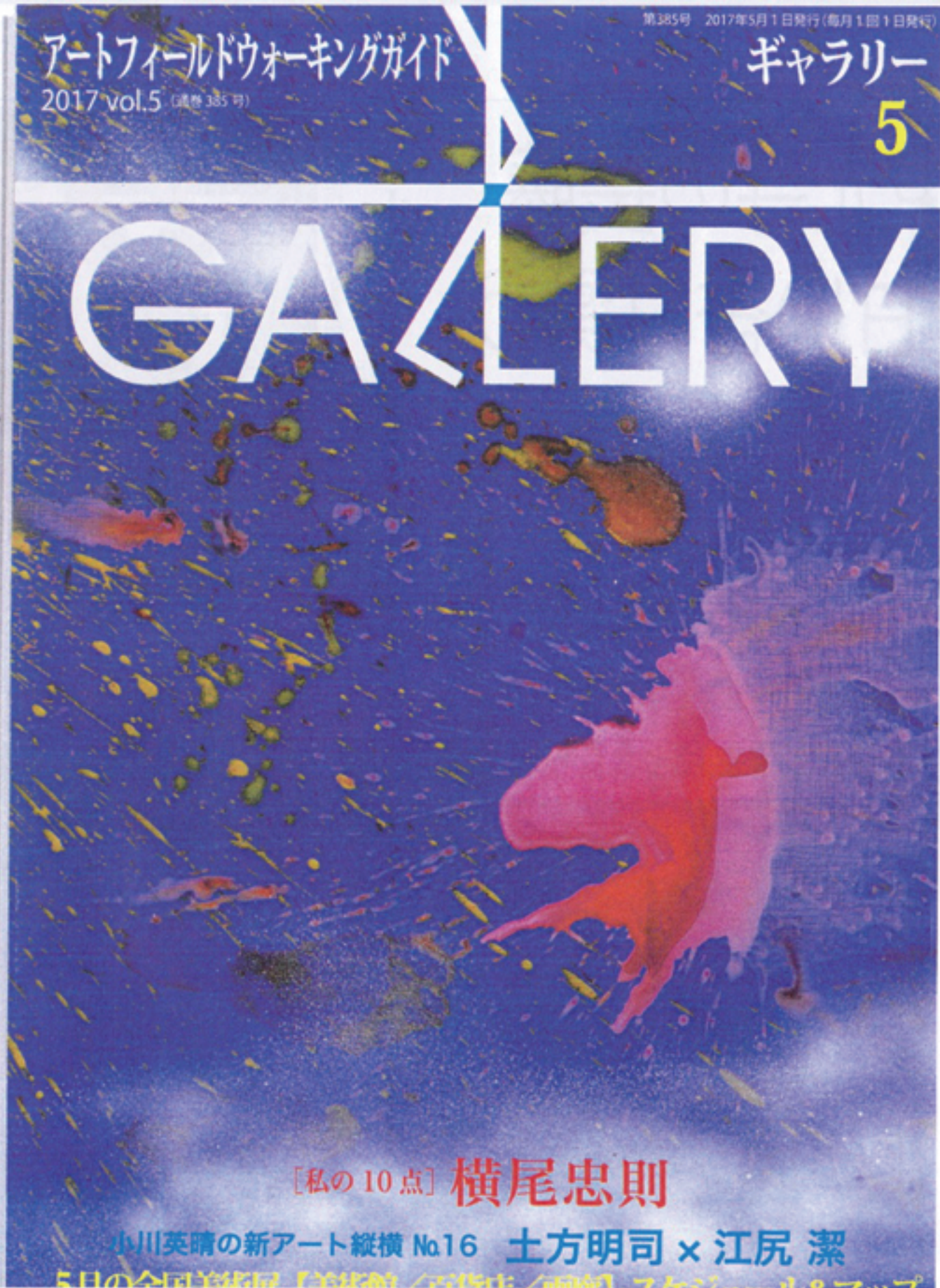


# GALLERY



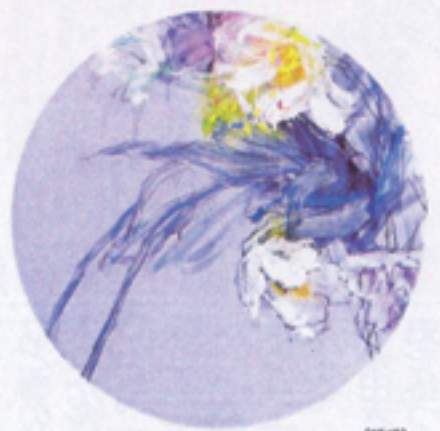
[私の10点] 横尾忠則

小川英晴の新アート縦横 No.16 土方明司 × 江尻 潔

5月の全国美術館【美術館/百貨店/画廊/カフェ/ショップ】

## 永田治子展 「息する場所で」

4月22日→6月18日  
島田市博物館分館/日本家屋  
静岡県島田市河原 2-16-5  
0547-34-3216



(呼吸)

「蕾の時も、咲き誇っている時も、散りゆく時も、私は花が放つ生命感に心惹かれ、力をもらいます。花と共に呼吸するような感覚で描いた作品で、130年もの時が息づく、この日本家屋と一緒に、息をしたいと思います」

今回の展覧会に關してこう述べる永田治子は、展示スペースとなる島田市博物館の日本家屋に何度も足を運び、展示構成を考えたという。花

の生命の時間経過と、共に呼吸をするように描くという永田は、また、日本家屋の歴史的な時間とも呼応し、空間全体をインスタレーションするような展覧会を実現させる。線描のリズムと軽快な色彩

で花の脈動を描く画家は、大学時代、桑原巨守に彫刻を師事している。彫刻からスタートしたその空間の捉え方が、今回の展示にも活かされている。日本家屋に屏風仕立ての大作や円形の指示体の作品等が配置され、単に、平面作品を並べると

いうことではなく、日本家屋の持つ空間と共生するように、展示構成が行われ、日本家屋の大きな一つの空間全体が作品

となっている。

「呼吸」を大切にしている作家のこの作品に、足を踏み入れた鑑賞者の「呼吸」が加わった時、展覧会はそのような命を感じさせるのだろうか。



永田治子 展示風景

花と共に呼吸するような感覚で描いた作品

展覧会とアート  
⑥